

留学先大学：西オーストラリア大学（UWA）

留学先での所属学部・研究科：\_\_\_\_\_

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2014年2月～2014年11月

神戸大学での所属学部・研究科：農学部

学年（出発時）：2

本報告書記入日：2014年12月1日

**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	English Language and Academic Communication 1	Penny Hawken	3	6	50	担当教員の指示が細かく、何をすればいいかがはっきりしている教科です。英語での授業に慣れさえすれば問題は無いと思います。
2	English Language and Academic Communication 2	Penny Hawken	3	6	30	Academic Language and Communication 1とほとんど同じ形式、内容の教科です。
3	Agricultural System	Ken Flower	4	6	30	テストは過去問を参考にすれば、ある程度対応できます。膨大な量のレクチャーノートに困惑しなくても大丈夫です。教員は脈絡なく大量のインプットを与えてくるので重要な点を見極めるのが非常に難しかったです。
4	Marketing Management		3	6	500	小テスト点、出席点をしっかりかせいでいけば問題ないはず。小テストは毎回の授業前の予習課題に基づいており、対応しやすかったです。
5	Agricultural Economics & Marketing	Amin W. Mugera	4	6	30	講義内容、主に経済学をグラフで理解することが求められました。
6	Issues in Japanese Society and Culture	Romit Dasgupta	3	6	70	チュートリアル前に課題リーディングをしっかりと読んでいくことで、自然とディスカッションに参加できると思います。期末テストについては特に心配するほどのものではありませんでした。
7	Decision Tool for Natural Resource Management	Marit Kragt	3	6	50	チュートリアル課題がほぼそのままテストに反映されます。毎週コツコツと勉強していれば問題ないと思います。コンピューターラボで分からないことがあれば担当教員が丁寧に教えてくれました。どんどん質問していいと思います。
8	Knowing Country		2	6	250	チュートリアル前のリーディング課題をこなすことが重要でした。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

エッセイ、その他課題が成績評価の半分以上の割合を占める教科もあり、実際に自ら課題をこなさなければいい成績評価は得られないな感じました。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃：10万円（往復）
  - ・住居費：（月額）16万円 ×（留学月数）10ヶ月 = 160万円
  - ・食費：（月額）住居費に達 ×（留学月数）ヶ月 =
  - ・保険料：10万円（10か月）
  - ・その他：寮費は住居費、食費、光熱費等すべて込みです、住居費欄に寮費を記入しました
- 合計：240万円（VISA申請料込）（留学期間全体の費用）

## その他 自由に記入してください。（800字～）

西オーストラリア大学、パースでの1年間の留学生活は非常に有意義で充実したものでした。パースは治安もよく自然豊かで非常に過ごしやすい都市です。

周辺には有名観光地等が数多くあります。大学やパース市中心部からバスで行けるビーチには学生もよく通います。ビーチ、海は本当にきれいです。ビーチは、木陰でくつろいでいる人、ビーチ沿いのカフェやバーで友達と楽しい時間を過ごしている人、多くの人のお気に入りの素敵な場所です。留学生、観光客は夕日を見にもビーチに行きます。車があれば、さらにパースから離れた国立公園、地区に行くこともでき、写真集に載っているようなオーストラリアの一面を見ることが出来ます。一直線に続く道路、広大な農場、木々の広がり、日本人にとっては新鮮で驚くような景色自然が見られます。

西オーストラリア大学での学生生活では新しい勉強スタイルが身に着きました。成績評価はレポート課題が多く割合を占め、自主的な学習が求められます。参考文献の選択、レポートの主題、課題の選択はレポート課題において重要かつ学生自身の意見が求められる点でありました。もちろん、担当教員のサポートがあり、レポートの主題には制約もありますが、一連の課題を自分の意思と選択でこなしていくことで「研究」というもの少し具体的に想像できるようになりました。これは今後の学生生活において、大いに役立つと思っています。

1年間の留学生活後には、飛躍的な英語力の向上が実感できました。留学初期に、恐らく学生内で最低レベルであった私の英語力は、留学終了時には日常会話はほかの学生と問題なくこなせるようになり、仲のいい友達とは1～2時間程度、ずっと話し続ける程にまでなりました。リーディング、リスニング、ライティングは大学での課題をこなしている間に自然と向上しました。スピーキングは、英語を話す機会を出来るだけ多く作ることを心がけていました。

パースでの留学生活は観光、日常生活、学業、語学の面で素晴らしい経験を得られる機会だと思えます。